

第45回各務原市地域公共交通会議 議事要旨

日 時	令和7年5月29日（木）14:00～
場 所	各務原市産業文化センター 8階第2特別会議室
出席者 （敬称略）	【委 員】（敬称略） 豊田 智隆 （東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部管理部企画課担当課長） 高井 勇輔 （名古屋鉄道株式会社地域連携部交通サービス担当課長） 宮部 敬輔 （岐阜乗合自動車株式会社営業管理部課長） 平塚 康男 （名鉄バス株式会社運輸本部次席交通企画官） 木村 治史 （公益社団法人岐阜県バス協会専務理事） 横山 孝司 （川島タクシー株式会社専務取締役） 石井 靖治 （岐阜交通東部株式会社代表取締役） 山田 健太郎 （株式会社日本タクシー代表取締役社長） 平下 和重 （岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長）（代理：片山義吉） 正村 明 （岐阜乗合自動車労働組合執行委員長） 並木 祐之 （市自治会連合会副会長） 小島 範子 （市シニアクラブ連合会理事兼女性部会部長） 清水 孝子 （八木山地区社会福祉協議会理事） 下平 真一郎 （中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官）（代理：坂本光浩） 川口 貴弘 （岐阜国道事務所管理第一課長） 児玉 忠哲 （岐阜土木事務所施設管理課長） 川口 雅慎 （各務原市都市建設部長）（代理：高橋直紀） 村瀬 義樹 （各務原警察署交通課長） 大脇 哲也 （岐阜県都市建築部公共交通課長）（代理：野田なつみ） 井戸田 直人 （各務原市議会建設水道常任委員長） 各務 英雄 （各務原商工会議所 専務理事） 杉山 仁 （株式会社アイシン移動サービス事業推進部移動サービス企画室室長） 川端 光昭 （岐阜工業高等専門学校環境都市工学科准教授） 磯谷 均 （各務原市副市長） 【事務局】 各務原市 都市建設部都市活力創造課

■次第

・議事

- ① 各務原市地域公共交通会議の役員選任および規約の改正
- ② 令和6年度事業報告および決算
- ③ 令和7年度事業計画および予算
- ④ ふれあいバスの改正
- ⑤ 地域公共交通確保維持事業について
- ⑥ 令和6年度地域公共交通計画の個別施策の進捗状況および確認指標の評価

・報告

- ① 令和5・6年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について
- ② ふれあいバスへの筆談具の設置

■開会

【事務局】

定刻となりましたので、ただ今より、「第 45 回各務原市地域公共交通会議」を開催します。それでは、委員長より委員の皆様にご挨拶申し上げます。

■委員長挨拶

【磯谷委員長】

本日は、今年度第 1 回目となります「第 45 回各務原市地域公共交通会議」にご出席いただき誠にありがとうございます。今回は、昨年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算についてご協議いただきます。関係者の皆様には、地域公共交通の確保・維持に向けてご尽力いただいておりますが、引き続き皆様と連携して公共交通ネットワークの維持に向け、取り組みを進めていきたいと考えております。皆様の活発なご意見に期待します。

■定足数確認

【事務局】

各務原市地域公共交通会議設置規約第 7 条第 2 項の規定により、開会には委員の過半数の出席が必要です。本日は委員 25 名中、20 名がご出席、委任状により代理出席の方が 4 名ですので、本会議が有効に成立していることを報告いたします。

ここからは、委員長に議事の進行をお願いします。

■議事

【磯谷委員長】

議事 1「各務原市地域公共交通会議の役員選任および規約の改正」について、事務局からの説明をお願いします。

【事務局】

(1) 役員の選任について、ご説明します。

各務原市地域公共交通会議設置規約第 6 条では、この交通会議に委員長 1 名・副委員長 1 名・監事 2 名を委員の中から互選により置くことになっています。現在は、副市長の磯谷が委員長、岐阜工業高等専門学校の前川端准教授が副委員長、各務原商工会議所の各務専務理事と昨年度、3 月までは市自治会連合会の江口副会長、4 月からは並木副会長に監事を務めていただいております。現役員の任期が 6 月末までですが、次回の公共交通会議を円滑に進行するため、任期中ではありますが、7 月 1 日以降の次期の役員選出をお願いします。

【磯谷委員長】

事務局の説明でご質問はございませんか。では、立候補やご推薦はございますか。

※挙手なし

【各務原市議会建設水道常任委員長 井戸田委員】
事務局一任

【磯谷委員長】
事務局一任の声がありましたので、事務局案をお願いします。

【事務局】
引き続き、委員長に副市長の磯谷、副委員長に岐阜工業高等専門学校川端准教授、監事に市自治会連合 並木副会長・商工会議所 各務専務を選任する案を事務局より提示します。

【磯谷委員長】
事務局案が提示されましたが、皆様、ご異議ございませんか。

※異議なし

【磯谷委員長】
では、委員長は私が、副委員長は川端准教授、監事は並木副会長・各務専務で務めさせていただきます。

【磯谷委員長】
(2)規約改正について、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】
事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

※委員からの質問や意見は、なし

【磯谷委員長】
(2)規約改正について、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】
議事2「令和6年度事業報告および決算」について、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】
事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

運転免許自主返納事業について、事業終了後の取り組みはありますか。

【事務局】

地域公共交通会議では、利用促進事業として運転免許自主返納支援事業に取り組んできました。この支援事業は終了しましたが、市として免許返納後の支援は今後も必要であると判断したため、支援内容は異なりますがまちづくり推進課にて実施していきます。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

チョイソコかわしまを導入した経緯を教えてください。

【事務局】

市外の医療機関・商業施設やイオンモール各務原インターへの移動を希望する声があり、川島地区は駅から離れている地域であること、ふれあいバスの運行が少ないエリアであることから導入しました。

チョイソコは、バスが走行できない狭い道路が多い地区、高齢化率の高い坂道の多い住宅団地や鉄道駅から遠い地域で導入しています。

【磯谷委員長】

議事2「令和6年度事業報告および決算」について、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】

議事3「令和7年度事業計画および予算」について、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】

事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【市自治会連合会副会長 並木委員】

アンケート調査は市民3000人に無作為で行うとありますが、市民の多くは車に乗っている方がほとんどであり、公共交通に普段乗っていない方がアンケートを答えるケースが増える可能性もあると思います。アンケートを実施して得たい情報を得られないのではないのでしょうか。

【事務局】

公共交通の利用の有無を問わず、市民の皆様が市内の公共交通をどのように感じているかを把握したいと考えています。アンケート調査はこれまでも実施していますが、今回は、普段公共交通を利用している方と利用していない方で質問を分けるなど工夫します。

【公益社団法人岐阜県バス協会専務理事 木村委員】

事業計画の中に運転士不足についての取り組みがありませんでしたが、市として運転士不足に対する事業は検討していますか。

【事務局】

昨年度も行った産業農業祭にふれあいバスを展示し乗り物に興味を持ってもらう取り組みを今年度も実施します。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

運転免許自主返納事業について、今後まちづくり推進課の事業に代わってから返納状況などがどのように変化したかを確認してください。

【事務局】

今後の状況を把握していきます。

【磯谷委員長】

議事3「令和7年度事業計画および予算」について、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】

議事4「ふれあいバスの改正」について、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】

事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

※委員からの質問や意見は、なし

【磯谷委員長】

議事4「ふれあいバスの改正」について、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】

議事5「地域公共交通確保維持事業について」、事務局からの説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】

事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・評価で、稲羽西線と稲羽東線の利用者数の合計とした理由をご教示ください。

【事務局】

目標となる利用者数は地域公共交通計画の確認指標と同数にしています。令和7年4月に稲羽線を稲羽西線・稲羽東線に分ける改正を行いました。稲羽西線と稲羽東線は、旧稲羽線を単純に2つに分割したのではなく、稲羽西線が新那加駅で循環しており、利用者数を分けることができないためです。今後は稲羽西線と稲羽東線それぞれの利用者数も把握していきます。

【磯谷委員長】

議事5「地域公共交通確保維持事業について」、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】

議事6「令和6年度地域公共交通計画の個別施策の進捗状況および確認指標の評価」について、事務局からの説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】

交通事業者の皆様にも、令和6年度事業についてそれぞれご報告をいただきたいと思います。

【東海旅客鉄道株式会社 豊田委員】

安全・安定輸送が最優先ですが、それ以外のサービスも重要と考えています。昨年度の実績は前年比で新幹線が108%・名古屋近郊の在来線は102%と、コロナ禍以降増えてきています。さわやかウォーキングなどのイベントも盛況でした。

【名古屋鉄道株式会社 高井委員】

昨年度の実績は、2023年度と比較して、定期券外利用者は全線約2%増加、各務原線は若干減少、通勤定期券利用者は全線約2%増加、各務原線は全線を上回る増加、通学定期券利用者は全線約1%増加、各務原線は若干減少で、全体としてコロナ前には戻りきっていない状況です。

こどもmanaca おでかけキャンペーンは多くの方にご利用いただきました。今後もmanaca、CentXなどのデジタルツールを活用しながら利用促進に取り組みたいと考えています。

【岐阜乗合自動車株式会社 宮部委員】

深刻な運転士不足による路線の廃止や減便が続いているため、利用者数は減少していま

す。処遇改善により離職は止まった印象で、採用も強化していますが、改善するところまではいかないため、今後も路線の見直しが必要です。

【名鉄バス株式会社 平塚委員】

一宮駅と江南駅に向かう路線がありますが、ほぼ一宮へ向かう路線です。前年比はほぼ100%でした。江南駅へ結ぶ路線は2024年に平日を0便にしましたが、前年から大きな変動はありませんでした。乗務員は不足しているため、少ない人数と車両で効率よく運行できるよう合理化を進めなければならない厳しい状況です。

【川島タクシー株式会社 横山委員】

チョイソコかわしまを8月より運行していますが、周知がまだ足りていないと感じています。チョイソコを利用すれば1乗車250円ですが、チョイソコを知らずタクシーを呼ばれている方もいらっしゃいます。株式会社アイシン・各務原市と協力して利用者を増やしていきます。

【岐阜交通東部株式会社 石井委員】

令和4年より利用者数は右肩下がりになっています。また駅からの乗り込み客も減っています。運行をしていく上で必要な乗務員も約25%不足している状況です。9時から10時頃まで予約が取りづらい状況が続いており利用者の方へご不便をおかけしています。乗務員不足解消のための給与改定と原油価格高騰の対策を行うため、来月から運賃改定を中部運輸局へ依頼する予定です。

【株式会社日本タクシー 山田委員】

乗務員不足ですが一番乗務員が足りていなかった時期と比較すると少し増えてきています。しかし、天候や時間帯によっては予約が取りづらいことがあります。乗務員募集や教育を積極的に行っていきたいと考えています。

【岐阜県タクシー協会 平下委員(代理：片山義吉氏)】

乗務員不足が最大の課題となっています。岐阜支部としてはかかみがはら産業農業祭にタクシーを提供し、乗り物に興味を持ってもらえるような活動を行いました。同様の取り組みを岐阜市とも連携し行っています。今年9月には岐阜女子短期大学でバスとタクシーに興味をもってもらおうと特別講義を計画しています。こうした活動を継続し公共交通に興味をもつ方を増やします。

岐阜名鉄タクシー株式会社としては、令和7年4月より緑苑団地デマンド便の運行を開始しました。1日6便を用意していますが朝1便・2便の利用が多く、乗合率は1便あたり約1.5人となっています。

【株式会社アイシン 杉山委員】

チョイソコかわしまに関してはスタンプラリーや無料券配布など行っていますが低迷が続いています。引き続きイベントなど工夫し利用者を増やします。チョイソコかかみがはらは、利用者数も増えてきていますので、各スポンサー協力のもとニーズに合わせた「コトづくり」イベントや周知活動を継続していきます。

【磯谷委員長】

事務局の説明や交通事業者の皆様のご発言について、ご意見ご質問はございませんか。

【八木山地区社会福祉協議会理事 清水委員】

交通事業者の皆さんが様々な努力をされて市民のためにサービスを提供されていることがわかりました。

地域の皆に知ってもらいたいので、今日の資料は地域で回覧などしてもよいでしょうか。ふれあいバス・チョイソコにこれだけの費用がかかっていることを知ることで、公共交通に関心をもって乗ることができると思います。

【事務局】

本日の資料は市ウェブサイトに掲載しますのでどなたにもご覧いただけます。回覧していただいても結構です。

【八木山地区社会福祉協議会理事 清水委員】

令和7年4月から変更になったバスマップは以前よりも見やすくなりました。

【磯谷委員長】

議事6「令和6年度地域公共交通計画の個別施策の進捗状況および確認指標の評価」について、ご承認いただけますか。

※承認

■報告

【磯谷委員長】

報告1「令和5・6年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について」は、先ほど議事6で説明がありましたので、報告2「ふれあいバスへの筆談具の設置」について事務局からの説明をお願いします。

【事務局】

2024年3月からふれあいバス車内に聴覚障がいをお持ちの方などに利用していただけるよう、「筆談具」を運転士横の運賃箱周辺に設置しました。

【磯谷委員長】

この件について、ご意見ご質問はございませんか。

※委員からの質問や意見は、なし

【磯谷委員長】

以上で、本日の議事、報告事項はすべて終了とさせていただきます。
最後に、川端准教授に本日の会議の総括をお願いします。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

運転士不足が深刻な状況は行政・交通事業者ともに認識しています。令和7年4月から新しくなった公共交通マップの表紙には「フル活用していろいろなところへお出かけ」と記載されています。フル活用ということは乗り継ぐなどしていろいろな交通モードを使うということです。市内全域に行けるようにするには拠点や待合環境の整備が重要になります。事務局が今年度より都市建設部となったのはハード整備をにらんでのことと思います。事務局には、整備面にもより尽力していただければと思います。

議事6の9ページにある利用者1人あたりの公的負担額については、ふれあいバスが約600～700円・チョイソコが約3,000～4,000円と聞いてものすごく費用がかかっていると驚かれた方も多いと思います。この数字を見るとタクシー券を配るなどすればよいのではないかという意見も上がってくるかもしれません。しかし、公共交通として整備しているから救われる人がいます。行政が公費で提供している公共交通サービスを全部廃止した場合、別のサービスを用意するにはどのくらいの費用がかかるか比較する必要がありますので、データの見方はくれぐれも十分にご注意ください。